

令和5年度 事業報告

社会福祉法人 宮崎市社会福祉事業団

目 次

1 事業概要 1

2 理事会・評議員会・監査等 8

3 組織図・業務詳細 10

4 職種別職員数・役員数 11

5 部門別事業報告 12

6 その他 34

別添資料 令和5年度 宮崎市総合発達支援センター
利用状況について (月別) 41

1 事業概要

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され1年が経過しました。

5 これまで当事業団では、施設利用児者の命を最優先に、予防対策や行動基準の更新など徹底した感染拡大防止策を講じ、安全安心の確保と福祉サービスの継続に努めてきました。

10 令和6年4月1日より感染症対策の強化に係る取組みが義務化されることに伴い、新型コロナウイルス感染症等発生時における業務継続計画を策定しました。法人内での感染者発生の抑制および感染拡大の防止のための事項や施設内で発生した場合においても、サービス提供を継続するために当施設の実施すべき事項を定めました。

15 また、これからの社会環境の変化や各種法令に対応する事業展開を見据え、財務強化や人材育成、人員体制確保、労働環境整備など、令和6年度以降の安定した経営基盤づくりに力を注ぎました。

(1) 運営施設・事業

宮崎市が設置する合計17福祉施設の指定管理者として、またそれらの施設を拠点にした福祉事業の受託者として、適正な職員配置、施設の安全管理の徹底、福祉サービスの質の向上を図り、健全経営に努めました。

指定管理施設	宮崎市総合発達支援センター 1施設
	宮崎市児童館・児童センター 12施設
	宮崎市老人福祉センター・老人いこいの家 4施設 (赤江運動広場含む)
主な受託事業	宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター事業ほか
	宮崎市児童クラブ運営業務 4箇所
	宮崎市巡回児童館運営業務
	宮崎市ハロー・キッズルーム運営業務

20 宮崎市総合発達支援センター空調設備改修工事(建築主:宮崎市)に年間を通して協力を行い、宮崎市総合発達支援センター本館の施設整備を行

いました。また、複数年計画で行われていた児童館・児童センター12か所の空調設備新設工事が令和5年度に完了しました。

(2) 宮崎市総合発達支援センター

5 障がいのある児童とそのご家族に対し、適切な支援を行う総合的な療育の拠点となるよう施設の運営に努めました。

また、宮崎市が推進するDX環境整備の一環として電子カルテシステム、福祉システムを導入し、利用者に安心・安全な医療や療育の機会の確保に努めました。

10

ア 総合診療所

様々な障がいやその疑いのある就学前児童を中心に診断、検査を行い、総合的な評価に基づく治療、訓練、療育指導等を行いました。

15

利用状況

	令和4年度	令和5年度	前年度 対比	主な増減要因
外来診療 受診者数 (延べ人数)	11,592人	11,895人	102.6%	・常勤医師が1名増員されたため、診療待機期間が3~4か月に短縮等
機能訓練 利用者数 (延べ人数)	9,203人	9,329人	101.4%	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う利用制限の緩和、OT室増設等

イ 児童発達支援センター すびか

20 就学前の運動機能に障がいのある児童や発達に障がいのある児童を対象に、家庭と連携した療育体制づくり（保護者面談、親子保育、保護者学習会など）を図りながら、遊びを中心に据えた療育、摂食・嚥下指導、集団保育による生活全般への支援を行いました。

利用状況

	令和4年度	令和5年度	前年度 対比	主な増減要因
契約児数 (最多)	40人	40人	100.0%	—

年間延べ 利用人数	7,444 人	7,823 人	105.1%	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う利用制限の緩和等 ・稼働日数の増加
--------------	---------	---------	--------	---

ウ 指定生活介護事業所 宙（そら）

5 利用者やその家族に対するモニタリングやアセスメント（個別面談やアンケート）により、様々なニーズを把握し、日中活動の計画及び提供に反映させ、支援の充実を図りました。また、重度の障がいがある在宅者を対象に、活動や行事を通して利用者間の交流や仲間づくりを通して、充実した生活の場を提供しました。

利用状況

	令和4年度	令和5年度	前年度 対比	主な増減要因
契約者数 (最多)	45 人	46 人	102.2%	—
年間延べ 利用人数	4,176 人	4,085 人	97.8%	看護師減による利用制限

10

エ そうだんサポートセンター おおぞら

オ 宮崎市そうだんサポートセンター すぴか

15 そうだんサポートセンター おおぞらにおいては、①障がい児者に対する家庭訪問、面接及び電話等による相談、②福祉保健医療サービスに関する調整や情報提供等、③訪問による学校、幼稚園及び保育所等の支援など、相談支援機関として中核的役割を担いました。

宮崎市そうだんサポートセンター すぴかでは、主に就学前のお子様とそのご家族を中心に、アセスメントを通して障がい児支援利用計画の作成及びモニタリングを実施しました。

20

実施事業

	事業内容	従事者
宮崎市委託	・宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター事業 ・宮崎市障がい児等療育支援事業	・相談支援専門員 ・子育て相談員 ・医療的ケア児等コ

	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎市医療的ケア児等支援事業 宮崎市発達障がい児等早期支援強化事業 	ーディネーター
宮崎市指定管理	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て相談員
自主事業 (宮崎市指定)	<ul style="list-style-type: none"> 計画相談支援事業及び障がい児相談支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援専門員

自主事業としてサービス等利用計画及び障がい児支援利用計画を作成し、法人の財務基盤安定に努めました。

	令和4年度	令和5年度	前年度 対比
サービス等利用計画	1,841千円	1,322千円	71.8%
障がい児支援利用計画	5,400千円	4,957千円	91.8%

5 カ その他

支援センターでの内部連携、医療福祉教育機関との外部連携に取り組み、より一層の支援の充実を図りました。

	主な連携先	主な内容
内部連携	診療所—障がい児通所部 診療所—障がい者通所部 診療所—地域生活支援部	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児種別保育 給食時の摂食嚥下指導 作業療法室での協働保育活動 理学療法士等の定期的な支援 療育等支援事業
	障がい児通所部—地域生活支援部	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児利用計画に関する調整 サービス利用計画に関する調整
外部連携	宮崎大学医学部附属病院 国立病院機構宮崎東病院 宮崎県立宮崎病院 宮崎県発達障害者支援センター 宮崎県中央福祉こどもセンター 宮崎市保健所 宮崎県・市教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> 利用児者に関する情報共有、紹介 乳幼児や学齢期児童への支援 医療的ケア児等コーディネーター養成等事業への講師派遣 母子保健事業（乳幼児健康診査、すこやか広場、ちびっこランド） 新型コロナウイルス感染症関連 医療的ケア児等の支援 研修の講師派遣

市内小中学校・支援学校 市内幼稚園・保育所 児童発達支援事業所 障がい福祉サービス事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談委員会への職員派遣 ・就学予定児童の引継ぎ ・利用児者に関するケース会議 ・運営に関する情報交換 ・利用全般に関する調整
---	---

(3) 宮崎市児童館・児童センター 12 施設

5 地域の児童を対象に、安全で安心な遊び場を提供し健全育成を図るとともに、子育て家族への支援や地域の子育て環境づくりに貢献する施設として、遊びの指導提供、行事開催、自然体験活動及びボランティア活動等を行いました。

10 また、地域における子育て親子の交流等を促進する「子育て交流ひろば」、保健師、助産師及び児童厚生員による定期的な「子育て相談」、高齢者との交流事業による地域との連携強化に重点を置いた「生き生き地域活動応援事業」の充実を図りました。

指定管理運営対象 12 施設

児童館	霧島、恒久、栄町、大島、倉岡、本郷
児童センター	大塚台、西原、平和が丘、櫛、木花、大塚

利用状況

	令和4年度	令和5年度	前年度 対比	主な増減要因
年間延べ 利用人数	94,489人	118,869人	125.8%	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う利用制限の緩和
コロナによる 休館日数	0日	0日	—	—

(4) 放課後児童健全育成事業

児童クラブでは、小学校や地域と連携し、放課後児童の健全育成に努め、多様な保護者のニーズに対応しました。

5 巡回児童館では、地理的な理由で児童館利用が困難な地域の自治公民館等へ児童厚生員が遊具を持参して巡回し、遊びを提供しました。

ハロー・キッズルームでは、小学校内に拠点を置いて児童館に準じた遊び場を提供しました。

事業の拠点

児童クラブ	倉岡（児童館内）、倉岡第二（小学校内） 住吉（小学校内）、住吉第三（小学校内）
巡回児童館 ※1地区あたり週1回	小松台、住吉南、大宮、宮崎南、学園木花台、広瀬北、 高岡、七野、国富、穆佐 の各小学校区
ハロー・キッズルーム	大淀（小学校内）

10

利用状況

	令和4年度	令和5年度	前年度 対比	主な増減要因
年間延べ 利用人数	45,377人	53,132人	117.1%	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う 利用制限の緩和 ・稼働日数の増加
コロナに よる 休業日数	18日	0日	—	—

15

20

(5) 宮崎市老人福祉センター・老人いこいの家 4施設

地域の高齢者を対象に、相互の信頼・親睦を深め、老後の生きがいを感じることができるよう、趣味、娯楽、教養、健康づくりに関するサークル活動やレクリエーション活動、入浴、健康器具、健康に関する相談・教室等のサービス提供を行いました。

5

指定管理運営対象 4施設

老人福祉センター	南部、赤江（赤江運動広場含む）
老人いこいの家	住吉、古城

利用状況

	令和4年度	令和5年度	前年度 対比	主な増減要因
年間延べ 利用人数	45,348人	55,842人	123.1%	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う利用制限の緩和 ・稼働日数の増加
コロナによる 休館日数	41日	0日	—	—

10

(6) 本部事務局

法人の総合的な企画調整、人事、財務を担い、主に施設及び事業運営の総括的管理、労務管理、事業計画及び予算決算業務、理事会及び評議員会等の開催など、法人運営の中核として適正かつ効率的な業務を遂行しました。

15

また、部門長会議（宮崎市総合発達支援センター）、館長会（児童館・児童センター、老人福祉センター等）などの調整にあたり、内部の重要会議において情報提供、問題提起及び意思決定を行いました。

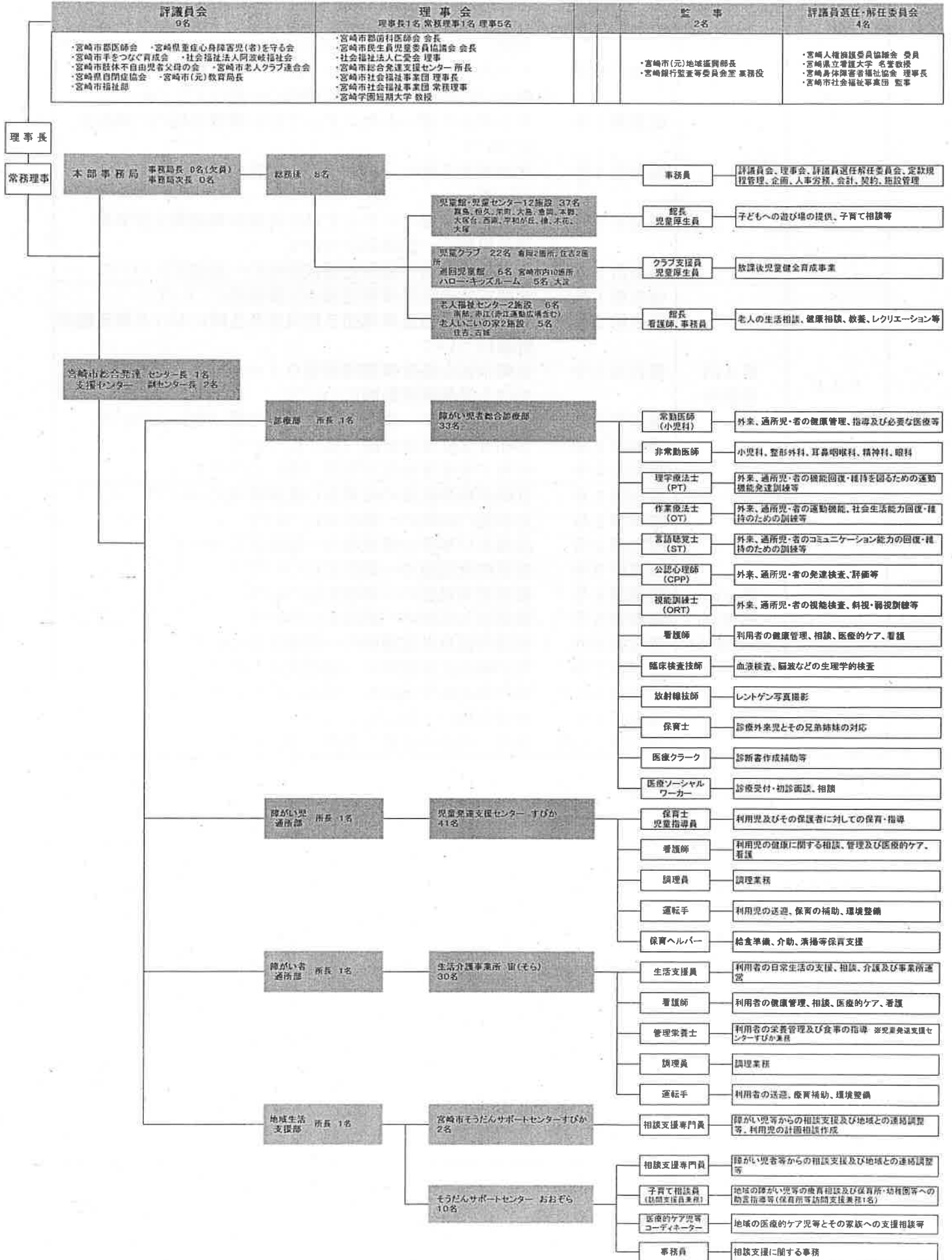
2 理事会・評議員会・監査等

月 日	区 分	議 題
5. 5. 12	監事監査	令和4年度事業報告、計算書類及び財産目録の監査
5. 5. 26	第1回 理事会	報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 報告第2号 予備費の使用について 議案第1号 令和4年度事業報告について 議案第2号 令和4年度決算並びに財産目録等について（監査報告） 議案第3号 職員給与規程の一部改正について 議案第4号 契約職員就業規程の一部改正について 議案第5号 再雇用職員就業規程の一部改正について 議案第6号 評議員選任候補者の推薦について 議案第7号 評議員選任・解任委員会の招集について 議案第8号 役員を選任候補者について 議案第9号 定時評議員会の招集について 議案第10号 役員等賠償責任保険について
5. 6. 6	第1回 評議員選任 解任委員会	議案第1号 評議員の選任について
5. 6. 22	第1回 評議員会	報告第1号 評議員の就任について 報告第2号 評議員選任・解任委員会委員の就任について 報告第3号 施設の長他の重要な職員の変更について 報告第4号 令和4年度事業報告について 議案第1号 令和4年度 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について 議案第2号 理事及び監事の選任について
5. 6. 22	第2回 理事会	報告第1号 評議員並びに理事及び監事の就任について 議案第1号 理事長の選定について 議案第2号 常務理事の選定について 議案第3号 定款施行細則の一部改正について 議案第4号 職員就業規程の一部改正について 議案第5号 職員給与規程の一部改正について 議案第6号 契約職員就業規程の一部改正について 議案第7号 嘱託職員就業規程の一部改正について 議案第8号 臨時職員就業規程の一部改正について 議案第9号 再雇用職員就業規程の一部改正について 議案第10号 経理規程の一部改正について 議案第11号 そうだんサポートセンターおおぞら（特定相談・障がい児相談支援）運営規程の一部改正について
5. 12. 20	第3回 理事会	報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 報告第2号 宮崎労働基準監督署の調査の結果及び是正・改善報告について 議案第1号 嘱託職員就業規程の一部改正について 議案第2号 臨時職員就業規程の一部改正について 議案第3号 文書管理規程の改正について 議案第4号 個人情報保護規程の改正について

月 日	区 分	議 題
		議案第5号 そうだんサポートセンターおおぞら（指定一般相談支援）運営規程の一部改正について 議案第6号 そうだんサポートセンターおおぞら（特定相談支援・障がい児相談支援）運営規程の一部改正について 議案第7号 そうだんサポートセンターすびか運営規程の一部改正について 議案第8号 児童発達支援センターすびか運営規程の一部改正について 議案第9号 児童発達支援センターすびか保育所等訪問支援事業運営規程の一部改正について 議案第10号 指定生活介護事業所宙運営規程の一部改正について
6.3.6	第4回 理事会	報告第1号 宮崎市社会福祉事業団感染対策指針について 報告第2号 宮崎市社会福祉事業団自然災害発生時における業務継続計画について 報告第3号 宮崎市社会福祉事業団新型コロナウイルス感染症等発生時における業務継続計画について 議案第1号 令和5年度第一次資金収支補正予算（案）について 議案第2号 令和6年度事業計画（案）について 議案第3号 令和6年度資金収支予算（案）について
6.3.22 提案 6.3.25 決議	第5回 理事会 (決議省略)	報告第1号 宮崎県指導監査の結果及び改善事項について 議案第1号 定款施行細則の一部改正について 議案第2号 組織及び事務分掌規程の一部改正について 議案第3号 事務決裁規程の一部改正について 議案第4号 職員就業規程の一部改正について 議案第5号 職員給与規程の一部改正について 議案第6号 再雇用職員就業規程の一部改正について 議案第7号 契約職員就業規程の一部改正について 議案第8号 嘱託職員就業規程の一部改正について 議案第9号 旅費規程の一部改正について 議案第10号 施設の長他の重要な職員の選任について

3 組織図・業務詳細

令和6年3月31日現在 役員等22名、職員総数212名



5 部門別事業報告

法人本部

重点目標・施策に対する実績

(1) 【第二次中期経営計画の遂行及び事業整備と環境構築】

- ① 医療的ケア児支援法や児童福祉法一部改正に対応するため、職員の採用を行い、地域の中核施設としての体制を整備しました。
- ② 宮崎市と連携し、宮崎市総合発達支援センターDX 環境整備事業による電子カルテ、リハビリシステム、福祉システム、Wi-Fi 環境整備を行いました。

(2) 【確実な事業計画の執行】

- ① 法人組織の見直しを行い、より緻密な連携が行えるように宮崎市総合発達支援センター各部門に副所長、所長補佐を配置できるように組織改編の準備を整えました。
- ② 本部事務局に係制を導入することで業務分担を明確化するなどの検討と準備を行いました。また、所長等の不在時の専決事項を副所長、所長補佐、係長が代決できるような体制の準備を行いました。
- ③ 児童厚生施設、放課後児童クラブ、老人福祉センター等においては、館長会等で、事業運営に関する助言・指導の他、実践状況などの管理の徹底を図りました。

(3) 【職員処遇の充実】

- ① 研修委員会を設置し研修内容の検討を行いました。年間予定に基づき、事業団の成り立ちや福祉制度に関する研修会の他、階層別のハラスメント防止研修や新人職員を対象としたプログラムを実施しました。
- ② 慶弔休暇や特別休暇の整理、臨時職員へ通勤手当支給するなどの就業規程の改正を行いました。
- ③ 給料表及び専門職手当を統一、昇格・昇任基準を整理、職員の給料等級の見直しを図るため、給与規程等の改正を行いました。
- ④ 勤怠管理システム及び給与・人事システムを導入し、時間外労働管理や休暇管理等の業務効率化を図りました。

(4) 【リスク管理体制の構築】

- ① 法人全体の業務継続計画（BCP）を作成しました。
- ② 個人情報保護や情報セキュリティの体制や責任者等を決め、リスク管理体制を整えました。
- ③ 宮崎市総合発達支援センター職員と協同で避難訓練を実施しました。
- ④ 児童館・児童センター及び放課後児童クラブの安全計画を策定しました。

宮崎市総合発達支援センター

【 診 療 部 】

重点目標・施策に対する実績

(1) 【事務の ICT 化】

- ① 電子カルテ、リハビリシステム、診療報酬のオンライン請求の導入に向け、文書様式や業務フローの見直しやオペレーションの構築に取り組み、12月に稼働しました。
- ② 医療情報セキュリティや個人情報保護について指針を定め、管理者や担当者の体制を整備しました。

(2) 【関係機関との連携強化と各種ニーズに応じた事業の推進】

- ① 宮崎市保健所のすこやかひろば担当職員との運営会議、健診検討会への参加、公認心理師、理学療法士による学校支援、作業療法士や公認心理師を支援者向け講演会に講師として派遣するなど、地域との連携強化を図りました。また、児童養護施設の職員と情報交換を行いました。
- ② 受診待機の家庭に対し、公認心理師、言語聴覚士、子育て相談員等で相談支援を行い、適切な時期に適切な支援が受けられるよう支援しました。

(3) 【地域への情報発信】

- ① 「OT だより」をホームページに掲載し、ご家族等に役立つ情報発信を行いました。
- ② 重症心身障がい児者の支援に直接関わっている地域の関係機関等を対象に「おおぞらセミナー」を Zoom で行いました。

○相談・調整業務

1) 来所・電話等内訳

(年間累計件数)

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
来 所	353	387	374
電 話	762	632	583
そ の 他	0	0	0
合 計	1,115	1,019	957

2) 内容内訳

(年間累計件数)

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
診 療 予 約	347	353	362
初 診 時 面 接	302	312	326
医 療 ・ 福 祉 支 援 等	235	177	118
他 機 関 ・ 施 設	118	93	88
学 校 生 活	34	32	18
家 庭 生 活	23	22	14
地 域 生 活 支 援	55	31	31
そ の 他	1	0	0
合 計	1,115	1,019	957

3) 経路内訳

(年間累計件数)

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
医 療 機 関	150	169	131
保 健 所	324	261	293
児 童 相 談 所	7	3	3
学 校 (教 育 機 関 含 む)	77	37	36
保 育 所 ・ 幼 稚 園 等	92	62	109
福 祉 施 設	84	116	94
テ レ ビ ・ 新 聞 イ ン タ ー ネ ッ ト 等	78	105	76
知 人 ・ 親 の 会	18	17	24
利 用 者	269	246	182
そ の 他	16	3	9
合 計	1,115	1,019	957

担当業務別の重点施策の実施状況

【 外来 】

(1) 【特殊外来における課題解決】

「精神科」…診察時間の調整等を行い必要な診察枠を確保しました。

「整形外科」…予約枠の調整や職員間の連携により、待機期間の短縮や診察時間の効率化を図りました。

「耳鼻咽喉科」…新型コロナウイルス感染症の影響で受診を控えていた障害者施設の方の診察・処置を行いました。

「眼科」…視能訓練欄に記載。

(2) 【診療録と請求事務の効率化】

電子カルテを12月より導入し、診療録は電子データに移行しました。また、マイナンバー保険証資格確認から請求事務までオンライン処理が可能になりました。

(3) 【新たな療法への取り組み】

新たな親子支援(PCIT: Parent Child Interaction Therapy 親子相互交流療法)を開始しました。

(年間累計人数)

項 目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
発達外来	初診	298	307	319
	再診	10,831	10,353	10,642
整形外科	初診	0	0	0
	再診	264	264	254
精神科	初診	0	0	0
	再診	158	122	106
耳鼻咽喉科	初診	3	0	15
	再診	58	16	33
耳鼻咽喉科 (難聴)	初診	18	28	59
	再診	243	188	195
眼 科	初診	1	2	0
	再診	330	312	272
	初診	320	337	393
	再診	11,884	11,255	11,502
合 計		12,204	11,592	11,895

【視能訓練】

(1) 【眼科患者の整理】

- ① 定期的な診察終了もしくは他医療機関への紹介を行いました。
- ② 定期的な検査・訓練を必要としたケースが少なく、待機期間が1～2か月に短縮しました。

(2) 【検査技術、知識の向上】

- ① オンラインで学会に参加し、小児眼科、神経眼科に関する知識を深めました。
- ② 他医療機関で検査困難なケース1名の紹介があり、検査、視能訓練へ繋ぐことができました。

(3) 【他の機関と連携強化】

- ① 宮崎大学医学部付属病院と併行で通院している方の情報提供を行い、連携を図りました。
- ② 宮崎市保健所の3歳6か月児健診に、視能訓練士を派遣しました。
- ③ 宮崎市における3歳6か月児健診の視覚検査の紹介を日本視能訓練士協会のホームページにて行いました。
- ④ 他医療機関へ診療情報提供書を記載する際、特性や検査方法、対応の工夫を記載し、発達障がいの啓発に努めました。

(年間累計人数)

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
評 価	76	63	54
訓 練	505	487	468
合 計	581	550	522

【理学療法】

(1) 【職員の資質と支援技術の向上】

- ① 宮崎県理学療法士会と協働し、研修会や連携会議を行い、専門職間での連携強化を図りました。
- ② 施設外研修への参加や、各自で取得した認定資格の更新など自己研鑽に努め、支援技術の向上を図りました。

(2) 【支援センター内および関係機関との連携】

- ① 児童発達支援センターすびか及び生活介護事業所宙での姿勢運動支援の充実のため、補装具の調整や訓練備品の貸与を行いました。また、支援職員を対象に「重症心身障がい者に対する姿勢管理」をテーマに研修を行いました。
- ② 地域生活支援部の要請に応じて施設支援、訪問指導に取り組みました。
- ③ 地域生活支援部の要請を受け、住宅改修に関する相談支援を行いました。
- ④ 保健、医療、福祉、教育機関と連携し、地域支援の充実を図りました。

(年間累計人数)

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
評 価	28	44	66
訓 練	2,552	2,595	2,555
合 計	2,580	2,639	2,621

【作業療法】

(1) 【ニーズに応じた作業療法支援体制の構築】

- ① ニーズに対応した支援を計画し、目的別生活支援を行いました。訓練室を1室追加し、作業療法支援は、年間延人数が108.5%増となりました。
- ② グループ支援や外部での支援について、綿密な打ち合わせや調整を作業療法士職員間で行うと共に、支援に関するノウハウ共有を行いました。

(2) 【支援センター内および地域の関係機関との連携強化】

- ① すぴか及び宙利用者に対し、各部門での支援に加え、作業療法室を使用した活動を両部署職員と共に行い、利用者への支援と職員間の情報伝達を行いました。また、宙利用者に対し、多職種で検討を重ね「ポジショニングシート」の作成に繋がりました。
- ② 4か所の公立保育所で「遊びの研修」を行い保育士との連携強化に努めました。
- ③ 母子保健事業である、すこやかひろばで専門的指導を、また、跡江保育所での親子通園で保護者勉強会を行いました。
- ④ 中央西地域及び清武地域ケア会議にて、管内の教育・保育施設職員に向けて講話を行いました。

(3) 【作業療法ノウハウの対外的な情報発信】

ホームページに、家庭でも実践できる情報を掲載したコラム「OTだより」を掲載しました。

(年間累計人数)

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
評 価	174	170	202
訓 練	1,753	1,641	1,762
合 計	1,927	1,811	1,964

【言語聴覚療法】

(1) 【受診前の家族に対する新たな相談支援の検討】

- ① 言語面（吃音など）を主訴とする初診前の相談支援を行いました。
- ② 各スタッフが相談支援の資質向上のため、学会・研修会へ参加しました。
また、部署内での研修会を定期的に行いました。

(2) 【関係機関との連携強化と各種ニーズに応じた事業の推進】

- ① 相談機関「聴こえとことばの相談」ひだまり（宮崎県身体障害者支援センター内）、宮日母子福祉事業団ことばの教室、放課後等デイサービスなどに所属する言語聴覚士との情報交換会を開催し、各施設の状況や支援内容について情報共有や意見交換の機会を設け、関係機関の連携強化を図りました。
- ② 学童期の児童に対して必要時に支援できる体制の充実を図るため、新規評価を行いました。また、対象疾患を拡充し、摂食嚥下障害児や口腔機能障害児への評価・訓練を新たに行いました。摂食嚥下機能評価・助言指導の際は、特別支援学校担当教員との情報共有・連携に努めました。
- ③ 母子保健事業（ちびっこランド、すこやかひろば）へ職員を派遣し、おおぞらホームページに掲載している情報を保護者向け説明資料として活用し、保護者や保健師への周知に努めました。
- ④ 難聴児への支援に関しては、保護者から相談があった難聴児を受け入れ、初診前の相談を行いました。宮崎大学医学部附属病院難聴支援センターとの情報交換会やさくら聴覚支援学校主催の公開講座等へ参加し、関係機関との連携強化を図りました。
- ⑤ 口蓋裂児とその保護者へのグループ支援を行い、就学に向けた教育サービスの情報提供や家族同士の交流の場を設けました。
- ⑥ 生活介護事業所宙の支援職員に対する食事介助技術の指導や利用者の食形態への現状確認・整理を行いました。

(年間累計人数)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
評価	165	153	176
訓練	1,907	1,583	1,567
合計	2,072	1,736	1,743

【心理療法】

(1) 【受診前の相談支援の拡充】

初診待機中の相談支援として「受診前の家族面談」を外来スタッフや地域生活支援部と連携しながら行いました。(宮崎市発達障がい児等早期相談強化支援事業)

(2) 【センター内外の機関との連携を強化する】

- ① 宮崎市と連携し、宮崎市保健所でのすこやかひろばへ職員を派遣し、専門的な助言を行いました。また、新しく母子保健担当になった保健師を対象に、センター見学時に発達支援に係わる講義を行いました。
- ② 母子保健研修会と母子地域ケア会議で、発達支援に関する講義を行いました。
- ③ 宮崎県立看護大学の大学院生を対象に、地域の母子ケアシステムに関する講義を行いました。
- ④ 幼児期の間接支援として、公立保育所の保育士を対象に発達に関する講義を行いました。
- ⑤ 教育機関との連携として、宮崎市就学相談委員会への出席や就学相談委員を対象とした講義、高校でのケース会議に参加しました。
- ⑥ 教育機関への間接支援として、上級特別支援教育コーディネーター養成研修と学校支援アドバイザー派遣事業への講師派遣を行いました。
- ⑦ 児童発達支援センターすびか職員と児童のカンファレンスを行いました。

(3) 【職員の資質向上と心理支援体制の強化】

- ① 心理職研修会へ参加し、支援スキルの向上と近接領域の心理士との連携を図りました。
- ② 利用者の細かなニーズに応じることを目的に、保護者向けの勉強会「テーマ別講座(就労、受け身タイプの子育て、感情との付き合い方)」を行いました。

(年間累計人数)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
評価	1,306	1,325	1,196
訓練	1,015 (125)	1,142 (174)	1,283 (221)
合計	2,321	2,467	2,479

※内数は初期療育(いるかグループ)及び集団療育(くじらグループ)の実績人数

【 障がい児通所部 】

【児童発達支援センター すびか】 重点目標・施策に対する実績

(1) 【家庭と連携した療育体制づくり】

- ① 個別指導計画とその見直し（6か月ごと）について、職員間で密に協議し、実態に即した計画作成を行いました。また、年3回の支援計画についての個別面談、必要に応じて保護者相談を行いました。
- ② 親子保育（毎週金曜日）及び各種行事を通じて、保護者との情報共有や学習の場を設けました。
- ③ 保護者学習会においては、5月「就学ガイダンス」、6月以降「支援学校見学会、地域小学校支援級見学会」、7月「卒園児保護者の話を聞く会（父母の会主催）」を行いました。
- ④ DX環境整備推進を図り、3月より電子連絡帳を導入し、保護者とのよりスムーズな連絡体制の整備を行いました。
- ⑤ 児童発達支援事業所評価保護者アンケートを行い、「支援満足度」については以下のような結果となりました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業所の支援満足度	91%	96%	100%

- ⑥ 親子で参加した年間行事を以下のとおり行いました。

月	行事名	内 容	人 数
5	春の親子遠足	親子保育 (フェニックス自然動物園)	99
7	七夕	七夕の行事	70
	夏祭り	親子保育、兄弟児支援 夏ならではのあそび場所の提供	130
10	うんどう会	かけっこやリズムなどを発表。 (宮崎市立檜北小学校体育館)	210
12	おたのしみ会	見ること、聞くことを中心に子ども、保護者参加型で楽しめる会。	98
	もちつき	もちつき体験 ※もちをつく、さわることの体験	95
3	お別れ遠足	親子遠足 (フローランテ宮崎)	112
	卒園式	卒園児：17人	114

(2) 【診療部や教育機関と連携した療育】

- ① 診療部職員が定期的に保育や食事場面に参加し、支援方法（発達支援・家庭支援）について、協議・連携を行いました。
- ② 作業療法士と連携し、作業療法訓練室での活動を行いました。
- ③ 関係機関との連携として、宮崎県立明星視覚支援学校との定期的な情報共有、就学を迎える児童を対象に支援学校等への引継ぎを行いました。

(3) 【安全・危機管理に関すること】

- ① 遊具や保育環境の点検を毎月行い、危険個所の修繕を行いました。
- ② 毎月、ヒヤリハット・事故報告書を作成し、事故の発生要因の分析と職員間での情報共有を行いました。軽微な事故も報告対象とし、重大事故の発生予防に努めました。
- ③ 支援センター内の各部門とで構成する防災委員会において備蓄品の見直しなど災害時マニュアルの改訂を行いました。
- ④ 月1回、緊急時想定訓練を行いました。(地震、津波、火災想定、アレルギー、バス訓練【発作、園外保育時の被災想定】、不審者対応など)
- ⑤ バス送迎時の安全管理の徹底や、送迎バス車内に置き去り防止安全装置取付など、安全管理体制の整備を行いました。
- ⑥ 3月に外部講師によるリスクマネジメント研修を行い、全職員にて園児の安全な環境作りのための意識向上を図りました。

(4) 【地域資源（場所・他施設）との関係促進】

- ① 園外保育で公共施設等を利用する機会を設けました。
- ② 行事（夏祭り等）に関連して、障がい福祉サービス事業所に物品の依頼をしたり、児童のトマトの収穫体験に協力いただくなど地域の福祉施設と連携した事業の実施に努めました。
- ③ 公立保育所と連携して、交流保育を行いました。また、近隣児童館での活動体験を行いました。

(5) 【職員のスキルアップに関すること】

- ① 内部研修として、発達、医療、食事、障がいの理解などについて学習会や研修報告会を行いました。
- ② 12月に障がい者虐待防止・権利擁護について職員研修を行いました。

【研修、実習の受入れに関すること】

- ① おおぞらセミナーを開催し、児童発達支援事業所や支援学校等に対して障がいを持つ子どもの理解に関する研修を行いました。
- ② 年間を通して実習生の受け入れを行いました。宮崎県主催の障がい児保育体験研修や宮崎市公立保育所医療的ケア保育体験研修の受入れを行いました。

○グループ編成 [令和6年3月（卒園及び転園前の在籍児数）]

(単位…人)

クラス名	人数	職員体制
たいよう	9	6
にじ	9	6
ぎんが	9	6
ほし	7	5
かぜ	6	5
合計	40	28

【 障がい者通所部 】

【指定生活介護事業所 宙(そら)】 重点目標・施策に対する実績

(1) 【利用者の生活の質の向上】

- ① アセスメントや保護者対象の個別面談等 (Zoom 面談希望者含む) を行い、個々の利用者ニーズを把握し、よりよい生活支援の場を提供できるよう努めました。
- ② 保護者参加型の行事 (さつき会、お楽しみ会等) は、感染症対策を行いながら、保護者の参加を募り、利用者とともに楽しんでいただく機会を設けました。
- ③ 生活の中に楽しみが持てるよう、季節を通じた様々な日中活動を提供し、カレー大会や縁日では、活動の中に“口から食べることの楽しみ”を取り入れ、看護師と連携して利用者の安全管理を徹底しながら、綿あめ体験等を実施しました。
- ④ オカリナコンサートとしてボランティアを受け入れ、オカリナの生演奏を鑑賞し、本格的なオカリナの音色に触れる機会を設けました。

(2) 【職員の専門性向上の充実】

- ① 重度の障がい者への支援に対応できるよう、職員指導や職場内研修を毎月行い、職員の意識向上や資質向上を図りました。また、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの予防に関する職場内研修を行い、感染防止対策に取り組みました。
- ② 診療部の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士から支援に関する指導や助言を受け、職員の技術向上を図りながら統一したケアを行いました。

(3) 【医療的ケアの充実】

- ① 利用者の健康状態を常に把握し、利用者に応じた適切な処置や医療的ケアを行い、健康管理に努めました。
- ② 新型コロナウイルスやインフルエンザ感染症拡大防止のため、利用者及び職員の体調管理 (体温、必要時は抗原検査の実施)、室内換気及び消毒の徹底に努めました。また、看護師による感染対策の勉強会を行いました。

(4) 【適正な運営】

虐待防止、身体拘束の適正化、BCP、感染症予防・蔓延防止対策の各委員会を開催し、その後職員へ向けての研修を行いました。

○ 年間行事

月	行事名	内 容	人 数
4~3	音楽会(年4回)	・季節ごとの音楽会を計画、四季折々の歌や音楽、楽器演奏を行う ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止	319
5	さつきウィーク	・利用者の作品展示、活動の様子の写真展示	86
7	七夕 縁日	・短冊の飾り付け ・縁日ならではの雰囲気を楽しむ (ひよっとこ、ヨーヨー釣り等) ※飲食は保護者了承のうえ実施	103
9	二十歳のお祝い会 オカリナコンサート	・二十歳を迎えられた利用者を利用者、職員で祝う ※二十歳を迎えられた利用者の保護者も参加 ・ボランティアによるオカリナコンサートを実施 ※保護者の参加あり	36
10	スポーツウィーク	一週間を通し、様々なスポーツを体感する(ゴルフ、ボッチャなど)	89
12	おたのしみウィーク、もちつき	・今年一年を振り返りながら、出し物や楽器演奏を観て楽しむ ・昔ながらのもちつきを見て、餅に触れる ※保護者の参加あり	107
1	新春ウィーク、初詣	・かるたやすごろくを行う ・一ツ葉稻荷神社へ外出	100
2	節分 二十歳のお祝い会	・豆まき ・二十歳を迎えられた利用者を利用者、職員で祝う。 ※二十歳を迎えられた利用者の保護者も参加	30
3	ひなまつり 調理活動	・お茶会、絵合わせカードや歌、絵本を楽しむ ・お菓子作り	82

【 地域生活支援部 】

【そうだんサポートセンター おおぞら】

【宮崎市そうだんサポートセンター すぴか】

重点目標・施策に対する実績

(1) 【地域の相談支援の中核的な役割】

基幹センターとして、障がい種別に関係なく、当事者、保護者、支援者等からの総合的な相談に応じました。

(2) 【専門性の高い（複雑困難な）事例への対応】

- ① 基幹相談支援センターとして、養育困難や生活困窮、虐待等の複雑困難な事例や高い専門性を必要とする事例への対応を行いました。
- ② 障がい児相談支援をより一層推進し、児童がすくすくと育つ環境が整うように、関係機関、事業所及び行政との連携に努めました。

(3) 【計画書作成担当事業所の紹介・案内】

利用者や市・関係事業所からの相談に応じ、サービス等利用計画書や障がい児支援利用計画書を作成する指定相談支援事業所の紹介・案内を行いました。

(4) 【他の指定相談支援事業所への助言】

- ① 宮崎市の相談支援体制の強化を図る取り組みとして、他の指定相談支援事業所に対して専門的な助言等を行いました。
- ② 他の指定相談支援事業所が抱える困難事例等に同行するなど、後方支援を行いました。

(5) 【研修の企画・開催】

宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターの役割である「地域の相談支援体制の強化」を図るため、指定相談支援事業所や各種サービス提供事業所を対象に研修を行い、地域の人材育成に努めました。

(6) 【療育の相談支援】

- ① 家庭や地域の施設を訪問し、障がい児（発達気になる子ども）やその家族に対する療育相談を行う巡回相談事業で、子育て支援センターの巡回相談での支援強化を図りました。また、障がい児（発達気になる子ども）が通所する施設を訪問し、職員に対する助言等を行いました。
- ② GSV（グループスーパービジョン）の手法を取り入れた施設支援を行うことで、保育所、幼稚園等の発達支援に係る技術向上を図りました。

(7) 【学齢期の複雑困難な相談に関する相談支援】

就学後の児童生徒の様々な支援ニーズに対し、家庭・教育・福祉の連携が円滑に進むよう情報提供や助言、関係機関へのつなぎなどのコーディネートを行いました。

(8) 【のびのびくらぶ(乳幼児期介護者サポート事業)の再構築】

実証ニーズを検証した結果、地域に児童発達支援事業所が増え、事業所を利用する中で保護者間の交流が図られるようになったため、今後は、相談支援の中で福祉サービス利用を進めていくことになりました。

(9) 【宮崎市自立支援協議会との連携強化】

- ① 宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターと宮崎市自立支援協議会の連携を強化するため「子ども支援部会」「医療的ケア支援部会」の事務局を担うとともに、その他部会の会議にも積極的に参加し、障がい児者を取り巻く課題を共通認識するために、各部会の運営を支援しました。
- ② 宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターの業務を各部会に周知し、地域の障がい者等の支援体制を充実するため、関係団体等との協力体制の構築に努めました。

(10) 【関係機関等との連携強化】

- ① 各種事業を円滑に進めていくために、市町村福祉担当課、教育委員会、児童相談所、医療機関など、各関係機関及び事業所との連携強化を図りました。
- ② 「宮崎市民生委員児童委員協議会」、「中学校区特別支援教育連絡会」などに出席し、地域の教育、福祉と家庭の連携と相談支援体制の強化を図りました。
- ③ 宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会(MSR)が主催する会議や研修会等の運営に協力し、障がい児者の相談支援体制の強化に努めました。

(11) 【宮崎市総合発達支援センター診療部及び通所部との連携強化】

- ① 宮崎市、国富町及び綾町の地域支援体制の強化を目的に、診療部及び通所部との合同勉強会や会議(外部評価や地域づくりなど)を企画するなど、各部門との連携強化を図りました。
- ② 増加する子どもの発達に関する相談に対応するため、幅広い知識と専門スキルを持った診療部・通所部(児童発達支援センターすびか)による地域事業所の育成・指導のコーディネート業務等を行いました。
- ③ 発達障がい等の診断を受ける前の期間に障がい児やその家族の不安解消を図るため、診療部と連携し、早期相談事業を行いました。

(12) 【医療的ケア児等の相談支援体制の強化】

- ① 宮崎市等の医療的ケア児及びその家族を地域で支えられるよう、他の相談支援センターとの連携を図りながら、福祉や教育、医療にまたがる相談支援体制の構築に努め、他事業所の相談支援専門員への助言や情報提供を目的とした交流会及び研修会を企画開催しました。
- ② 医療的ケア児の支援をしている事業所や家族会と連携し、兄弟姉妹の交流会を企画開催しました。
- ③ 宮崎県医療的ケア児支援センターとの連携を強化し、医療機関から退院する際の早期相談支援体制の構築に努めました。

(13) 【保育所等訪問支援の実施】

地域の幼稚園、保育園、認定こども園等に通う発達に心配のある子どもが、集団生活の中で安全安心に過ごせるように環境設定の助言や対応のアドバイスをを行い、保育や教育の成果を最大限に引き出すよう訪問支援を行いました。

- 宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターにおける相談支援、療育等支援、巡回支援等の実績

(年間件数)

項 目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
障がい者相談支援事業		2,429	2,418	2,851
療育等 支援事業	訪問療育	25	11	6
	外来療育	115	138	24
	施設支援	6	10	33
巡回支援専門員整備事業		253	254	169
合 計		2,828	2,831	3,083

- サービス等利用計画書及び障がい児支援利用計画書の作成件数

(年間件数)

項 目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス 等利用 計画書	新規・更新・ 変更	97	81	57
	モニタリング	43	37	28
障がい児 支援利用 計画書	新規・更新・ 変更	255	205	190
	モニタリング	118	101	87
合 計		513	424	362

- 乳幼児期介護者サポート事業「のびのびくらぶ」利用者(児)数

(年間延べ人数)

対 象	令和3年度	令和4年度	令和5年度
保護者	26	0	-
乳幼児	35	0	-
合 計	61	0	-

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

※令和5年度は、実施ニーズを検証し、未実施とした。

○ 保育所等訪問支援事業利用児数

(年間延べ人数)

対 象	令和3年度	令和4年度	令和5年度
乳幼児	0	16	23
その他児童	0	0	0
合 計	0	16	23

○ 障がい児支援利用計画書の作成件数

(宮崎市そらだんサポートセンターすぴか)

(年間件数)

項 目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
障がい児 支援利用 計画書	新規・更新・ 変更	6	50	62
	モニタリング	2	39	54
合 計		8	89	116

※令和3年度は相談支援専門員が欠員のため4月～2月まで休止、3月より再開

児童館・児童センター

重点目標・施策に対する実績

(1) 【利用者の促進】

リニューアルしたホームページでイベント等の案内の掲載、インスタグラムで動画発信するなど積極的な広報活動に努め、利用促進を図りました。

(2) 【小中高生の遊びの場の充実】

- ・各館にて、中高生の居場所づくりとして開館時間の延長を行いました。
また、父親の来館促進等を目的に日曜開館に取り組みました。
- ・利用児が主体となり活動する異年齢によるクラブ活動を年間通して行いました。

(3) 【子育て支援の充実】

- ・父親育児参加を推進する取組みとして、遊具遊びやスポーツ等の父親が参加しやすい行事を各館年3回以上実施しました。
- ・新一年生児童館体験事業として、各館とも幼稚園や保育所の年長児童や保護者を児童館に招待し、児童館の体験活動を行いました。

(4) 【地域特性(自然環境、伝統文化等)を活かした事業の実施】

地域が有する自然環境、歴史・伝統文化に触れる史跡巡り、古墳散策等を実施しました。

(5) 【地域の高齢者の経験を活かした世代間交流事業の実施】

地域の高齢者の知恵や経験を活かした講座や世代間交流事業に取り組み、5,568人の参加がありました。

○児童館・児童センター 利用者数

(単位:人)

館名	令和5年度					令和4年度	令和3年度
	幼児	小学生	中高学生	保護者他	合計		
霧島児童館	1,313	9,074	150	1,924	12,461	10,670	8,068
恒久児童館	1,221	8,185	119	1,492	11,017	8,587	5,428
栄町児童館	1,893	6,842	299	2,341	11,375	8,981	6,664
大島児童館	1,605	4,451	194	1,752	8,002	5,312	4,158
倉岡児童館	697	2,434	257	829	4,217	3,408	1,956
本郷児童館	877	11,424	756	889	13,946	10,801	6,072
大塚台児童センター	1,012	2,512	282	1,205	5,011	4,838	3,814
西原児童センター	3,195	2,558	185	2,998	8,936	6,569	3,258
平和が丘児童センター	1,007	4,590	77	1,052	6,726	6,241	4,256
櫛児童センター	1,854	5,900	146	1,934	9,834	7,392	4,972
木花児童センター	820	12,170	83	949	14,022	11,626	5,560
大塚児童センター	3,834	5,569	605	3,314	13,322	10,064	6,722
合計	19,328	75,709	3,153	20,679	118,869	94,489	74,300

【注1】令和5年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館なし

児童クラブ、巡回児童館、ハロー・キッズルーム

重点目標・施策に対する実績

(1) 【発達段階に応じた主体的な遊びの提供】

子どもの発達段階に合わせたあそびやスポーツを取り入れたほか、自然や文化に触れる活動や、季節のイベントなど多種多様な企画を実施しました。

(2) 【児童の社会性、創造性を育む活動の充実】

- ・異年齢交流やゲーム等のレクリエーションによる社会性や創造性を育む活動に取り組みました。
- ・SDG sを意識した取り組みとして、リサイクル肥料を使用したじゃがいも栽培・収穫体験や牛乳パックを使った工作等を行いました。

(3) 【安全管理の徹底】

- ・不審者対応訓練や災害発生時の訓練を実施しました。
- ・1日1回の安全点検（遊具・施設設備等）を実施しました。

(4) 【学校との連携強化】

毎月、各学校訪問を実施し、クラブでの児童の様子を学校に伝え情報交換を積極的に行うとともに、クラブ便りの配布を行いました。

- 倉岡児童クラブ、倉岡第二児童クラブ、住吉児童クラブ、住吉第三児童クラブ、巡回児童館、ハロー・キッズルーム 利用者数
(単位：人)

事業名	令和5年度	令和4年度	令和3年度
倉岡児童クラブ	2,537	1,791	2,493
倉岡第二児童クラブ	9,183	8,108	7,731
住吉児童クラブ	13,023	13,457	13,111
住吉第三児童クラブ	6,329	5,282	6,223
巡回児童館（1号車・2号車）	7,516	6,514	4,855
ハロー・キッズルーム	14,544	10,225	5,569
合 計	53,132	45,377	39,982

【注】令和5年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館なし

老人福祉センター・老人いこいの家

重点目標・施策に対する実績

(1) 【施設の利用促進】

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、利用制限が撤廃されるなど通常利用へ戻ったため、施設だよりを近隣の自治会や老人クラブ等へ配付するなど広報活動を行いました。

(2) 【健康づくり機能の強化】

宮崎大学医学部と連携したロコモ健康講座、近隣病院のトレーナーによる介護予防運動など高齢者の健康寿命の延伸を目的に様々な健康づくり事業を行いました。

(3) 【生きがいづくり支援の強化】

- ① スマホ、書道、ガーデニングのほか、ヨガ、フラワーデザイン、チェロ演奏などの高齢者が知識・技術を習得するための人気教養講座を展開しました。
- ② 講座修了生が自主的に運営するクラブについて、新規にクラブ3団体（花クラブ、日向民謡会、フラダンスクラブ）が結成されました。

(4) 【地域との協働（自治会等と連携した事業実施、館外活動の実施）】

近隣公民館に出向いて出張老人福祉センターを開催しました。

(5) 【就労機能の強化（セミナー開催）】

宮崎市シルバー人材センターとの協働によるお仕事説明会を開催しました。

(6) 【相談業務の充実】

高齢者の疾病予防等を目的に、看護師による健康相談・健康講座を実施しました。

○ 老人福祉センター・老人いこいの家利用者数

(単位：人)

施設名	令和5年度			令和4年度	令和3年度
	男	女	合計		
南部老人福祉センター	12,172	14,846	27,018	20,159	15,925
赤江老人福祉センター	6,207	9,992	16,199	13,832	9,518
跡江老人いこいの家	/	/	/	/	3,135
住吉老人いこいの家	155	4,232	4,387	3,657	2,530
古城老人いこいの家	4,450	3,788	8,238	7,700	5,015
合計	22,984	32,858	55,842	45,348	36,123

【注】跡江老人いこいの家は3年度末で閉館

○ 各種サークル参加人数

(単位：人)

サークル	令和5年度	令和4年度	令和3年度
囲碁	3,203	2,799	2,989
将棋	96	0	0
舞踊	0	10	75
茶道	102	89	42
カラオケ	4,413	2,509	1,377
体操	8,422	7,562	4,913
グランドゴルフ	4,463	4,049	3,240
<small>まっこうほう</small> 真向法(ヨガ)	749	698	538
卓球	2,630	2,294	2,048
その他	5,126	5,693	4,355
合計	29,204	25,703	19,577

6 その他

(1) 実習生等の受入（宮崎市総合発達支援センター）

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の予防条件（基準）を満たした実習のみ受け入れました。

実習・研修項目	学校・団体名	人数
診療・療育	宮崎大学医学部(宮崎市)	116
理学療法	宮崎リハビリテーション学院(宮崎市)	2
理学療法	九州看護福祉大学(熊本県玉名市)	3
作業療法	宮崎保健福祉専門学校(宮崎市)	1
言語聴覚	九州保健福祉大学(延岡市)	1
療育	宮崎県こども政策課(宮崎市)	6
療育	宮崎市子ども未来部保育幼稚園課(宮崎市)	6
療育	宮崎県立看護大学(宮崎市)	6
療育	もくせい園(日向市)	1
療育	九州保健福祉大学総合医療専門学校(宮崎市)	41
療育 生活介護	一般社団法人 あお(宮崎市)	3
生活介護	宮崎県立清武せいりゅう支援学校(宮崎市)	2
診療	宮崎市健康管理部保健医療課 医師臨床研修	2
療育 生活介護	宮崎市総務部人事課 宮崎市職員体験研修	2
生活介護	株式会社 Mirai Sozo(宮崎市) 職員研修	3
合計		195

昨年度合計 62 人

(2) 職員の外部派遣（宮崎市総合発達支援センター）※主なもの

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の予防環境を満たした依頼のみ職員を派遣しました。

回数又は月日	職名職種	派遣先	派遣内容
4回	医師 他	宮崎市教育委員会	宮崎市特別支援教育就学相談委員会
36回	医師	宮崎市親子保健課	母子保健事業に係る医師等の派遣
27回	作業療法士	宮崎市親子保健課	母子保健事業に係る医師等の派遣
23回	言語療法士	宮崎市親子保健課	母子保健事業に係る医師等の派遣
25回	公認心理師	宮崎市親子保健課	母子保健事業に係る医師等の派遣
12回	視能訓練士	宮崎市親子保健課	母子保健事業に係る医師等の派遣
8回	作業療法士	宮崎市保育幼稚園課	障がい児保育等に関する実務指導
3回	作業療法士	宮崎市地域保健課	中央西・本郷・清武地区母子地域ケア会議
4回	公認心理師	県立みやざき中央支援学校	未来を拓く特別支援学校「自立と社会参加」
4.7	理学療法士	県立みやざき中央支援学校	歩行や車椅子 排泄時等の介助方法及び注意事項
7.4	児童指導員	宮崎県社会福祉協議会	福祉の仕事 出前講座
7.12	公認心理師	宮崎市保育幼稚園課	遠城寺式乳幼児分析的発達検査法に係る研修
7.20	理学療法士	宮崎県精神保健福祉士協会	宮崎県医療的ケア児等支援者養成研修
8.3	公認心理師	宮崎市教育委員会	上級特別支援教育コーディネーター養成研修
8.18	公認心理師	宮崎市健康管理部	母子保健研修会 発達支援における保護者へのアプローチ

9.26	理学療法士	宮崎県精神保健福祉士協会	宮崎県医療的ケア児コーディネーター養成研修
10.12	医師	宮崎県社会福祉協議会	支援につながる障がい理解研修
10.26	児童指導員	善仁会アカデミー	宮崎県サビ管・児発管実践研修
11.15～ 11.16	児童指導員	善仁会アカデミー	宮崎県相談支援従事者研修
2.2	公認心理師	宮崎県立看護大学	地域ケアシステム論演習

(3) 職員研修 ※主なもの

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の予防環境を満たしたものの、またはオンライン形式での研修のみ受講しました。

①宮崎市総合発達支援センター

月日	職名職種	研修施設名	開催地	研修名
4.22	看護師	Web開催	—	医療的ケア看護師講習会
6.3	相談員 公認心理師 子育て相談員	Web開催	—	発達障がい支援者基礎講座(初任者向け)
6.12	保育士	宮崎県福祉総合センター	宮崎市	宮崎県知的障害者施設協議会 新任職員研修会
7.8	保育士	Web開催	—	発達障がい支援者スキルアップ研修(幼児期・学齢期支援・強度行動障害フォローアップ)
7.26～ 8.2	相談員	Web開催	—	相談支援従事者初任者研修
8.25	言語聴覚士	県立都城さくら聴覚支援学校	都城市	聴覚障がい乳幼児の早期教育公開研修会
9.30/10.21	看護師 生活支援員	宮崎県福祉総合センター / カルチャープラザのべおか	宮崎市 延岡市	介護職員による医療的ケア研修

10. 4	生活支援員	アリストンホテル 宮崎	宮崎市	新人介護職員・新人育成 担当者向け交流研修
10. 21～ 10. 22	言語聴覚士	つくばカピオ	茨城県 つくば 市	日本吃音・流暢性障害学 会第 11 回大会
12. 1～ 1. 10	医師	Web 開催	—	第 64 回日本児童青年精 神医学会
11. 12	児童指導員 保育士	Web 開催	—	教育と保育のための発 達診断セミナー
11. 20～ 12. 10	診療部職員	Web 開催	—	重症心身障がい児・者の ICT機器について
12. 7～ 3. 31	診療部職員 すびか職員	Web 開催	—	療育に関する講座
1. 4～ 1. 12	生活支援員 児童指導員	Web 開催	—	宮崎県サービス管理責 任者・児童発達支援管理 責任者実践研修
1. 14	公認心理師	都城市総合文化ホ ール	都城市	CARE 専門家ワークショ ップ

②児童館・児童センター等

月 日	職名職種	研修施設名	開催地	研修名
4. 17	児童厚生員 児童支援員	宮崎市社会福祉協 議会	宮崎市	ハラスメント防止研修
4. 24	新人館長 新人児童厚 生員	西原児童センター	宮崎市	職員の資質向上研修
5. 12～ 5. 13	児童厚生員	損保ジャパンビル 他	東京都	「つながる防災プロジ ェクト」中間情報交換会
5. 16～6. 2	児童厚生員	Web 開催	—	放課後児童支援員認定 資格研修
5. 26	児童館館長	お茶の水ソラシテ ィカンファレンス センター	東京都	全国児童館連絡協議会 定期総会 児童健全育成推進財団 会員総会及び健全育成 セミナー

6. 27	児童厚生員	宮崎県福祉総合センター	宮崎市	部下の可能性を引き出すコーチング研修
6. 30	児童厚生員	宮崎県福祉総合センター	宮崎市	メンタルヘルス研修 中堅職員編
7. 14	児童厚生員 児童支援員	宮崎市民文化ホール	宮崎市	放課後児童支援員・児童 厚生員等資質向上研修 会
7. 28	児童厚生員	宮崎県社会福祉研修センター	宮崎市	メンタルヘルス研修 初任者編
9. 21	児童厚生員	宮崎県社会福祉研修センター	宮崎市	福祉の基礎知識習得研修
9. 19～ 9. 28	児童厚生員	Web 開催	—	放課後児童支援員認定 資格研修
9. 29	児童厚生員	Web 開催	—	地域子育て相談機関に ついて考える
10. 13	児童厚生員	Web 開催	—	放課後児童支援員・児童 厚生員資質等向上研修 会
10. 19	児童館館長	清武総合支所	—	配慮を要する子ども達 への支援の在り方につ いて
11. 14～ 11. 22	児童厚生員	Web 開催	—	放課後児童支援員認定 資格研修
11. 25～ 11. 26	児童館館長	東京ビックサイト 港区港南こども中 高生プラザ	東京都	全国児童館・児童クラブ 大会
12. 7	児童厚生員 児童支援員	宮崎市民文化ホール	宮崎市	放課後児童支援員・児童 厚生員等資質向上研修 会
1. 30	児童厚生員	宮崎県社会福祉研修センタ	宮崎市	保育の現場における安 全管理研修
1. 30	児童厚生員	宮崎県福祉総合センター	宮崎市	宮崎県放課後児童支援 員・児童厚生員等資質向 上研修会

3.4	児童館館長	損保ジャパン日本橋ビル	東京都	つながる防災プロジェクト
-----	-------	-------------	-----	--------------

③老人福祉センター、老人いこいの家

月 日	職名職種	研修施設名	開催地	研修名
6.12	事務員	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	ハラスメント研修
7.19	事務員	宮崎県社会福祉研修センター	宮崎市	メンバーシップ研修 中堅職員編
7.28	事務員	宮崎県福祉総合センター	宮崎市	メンタルヘルス研修 初任者編
8.16	事務員	宮崎県社会福祉研修センター	宮崎市	口腔ケア研修
9.9～ 9.10	館長	宮崎市消防局宮崎東諸県広報防災センター	宮崎市	防火管理者講習会
9.29	館長	宮崎市民文化ホール	宮崎市	レジオネラ属菌汚染防止 対策講習会
11.1	事務員	Web 開催	—	福祉職員のための医学基礎知識研修
11.8	事務員	宮崎県社会福祉研修センター	宮崎市	チーム力を高めるコミュニケーション研修 中堅職員編
11.30	事務員	宮崎県社会福祉研修センター	宮崎市	タイムマネジメント研修 中堅職員編
2.9	事務員	宮崎県社会福祉研修センター	宮崎市	メンタルヘルス研修

④本部事務局

月 日	職名職種	研修施設名	開催地	研修名
4.14	主任	Web 開催	—	税理士登壇！インボイス制度開始にむけ、企業がとるべき対応とは？
9.14	主任	Web 開催	—	企業向けコンサルティング 女性が活躍できる職場づくりセミナー
11.20	主任	全国都市会館	東京都千代田区	全国社会福祉事業団協議会 専門性を向上させる研修
1.11～ 3.4	主任 本部職員	Web 開催	—	デジタルリスキリングアカデミー 一般従業員層向け研修後期
2.21	主任 主事	KITEN ビル	宮崎市	入札談合等関与行為防止法等に関する研修会

(4) 避難訓練等の実施状況

①宮崎市総合発達支援センター

実施回数	訓練内容	参加人数
年 4 回	全職員及び通所利用児者を対象とした総合避難訓練（火災・地震を想定した避難訓練）	約 130 人／回
月 1 回	障がい児者通所部職員及び通所利用児者を対象とした緊急対応訓練	約 5 人／回

②児童館、児童センター等

実施回数	訓練内容	参加人数
月 1 回	火災等の避難訓練 ※机上訓練含む	約 3~53 人／施設

③老人福祉センター、老人いこいの家

実施回数	訓練内容	参加人数
年 2 回	火災等の避難訓練	約 6~53 人／施設

【別添資料】 令和5年度 宮崎市総合発達支援センター利用状況について(月別)

《診療部》

①相談・調整業務

ア. 来所・電話内訳

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
来 所	34	33	33	34	23	35	32	33	29	31	29	29	375	387
電 話	56	50	70	66	33	53	59	40	36	33	42	44	582	632
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	90	83	103	100	56	88	91	73	65	64	71	73	957	1,019

イ. 内容内訳

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
診 療 予 約	28	28	48	45	18	39	43	21	16	19	22	35	362	352
初 診 時 面 接	31	29	29	28	19	26	25	33	25	26	29	26	326	312
医療・福祉支援策等	19	12	9	5	9	12	10	10	8	9	9	6	118	177
他 機 関 ・ 施 設	7	10	8	11	6	5	7	8	11	5	7	3	88	93
集 団 生 活	1	1	2	4	0	3	1	0	2	1	3	0	18	32
家 庭 生 活	1	1	2	2	1	2	1	1	0	2	0	1	14	22
地 域 生 活 支 援 策	3	2	5	5	3	1	4	0	3	2	1	2	31	31
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	90	83	103	100	56	88	91	73	65	64	71	73	957	1,019

ウ. 経路内訳

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
医 療 機 関	13	19	14	12	5	11	7	14	14	7	6	9	131	169
保 健 所	33	20	29	26	20	28	30	22	14	25	20	26	293	261
児 童 相 談 所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3	3
学 校 (教 育 機 関 含 む)	1	4	4	4	0	1	8	3	1	2	6	2	36	37
保 育 所 ・ 幼 稚 園 等	3	6	13	13	5	9	11	12	9	6	12	10	109	62
福 祉 施 設	8	6	14	15	6	12	6	4	4	8	5	6	94	116
インターネット・母子手帳等	4	9	10	8	6	5	6	7	6	5	3	7	76	105
知 人 ・ 親 の 会	0	3	3	2	2	1	4	4	3	1	1	0	24	17
利 用 者	27	16	14	20	9	19	19	7	14	9	15	13	182	246
そ の 他	1	0	2	0	2	2	0	0	0	1	1	0	9	3
合 計	90	83	103	100	56	88	91	73	65	64	71	73	957	1,019

②外来診療

ア. 診療科目別内訳(累計人数)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計	
発達外来	初 診	28	29	29	28	18	26	24	33	23	26	29	26	319	307
	再 診	786	880	906	897	892	890	916	859	865	821	905	1,025	10,642	10,353
整 形 外 科	24	22	24	18	17	23	22	15	21	15	15	38	254	264	
精 神 科	11	11	12	11	11	5	12	6	8	5	6	8	106	122	
耳 鼻 咽 喉 科	1	1	7	5	5	5	2	7	6	0	7	2	48	16	
耳 鼻 咽 喉 科 (難 聴)	17	14	30	29	27	26	19	15	18	25	18	34	272	216	
眼 科	14	16	24	22	22	22	27	27	22	15	11	32	254	314	
合 計	881	973	1,032	1,010	992	997	1,022	962	963	907	991	1,165	11,895	11,592	

イ. 訓練別内訳(累計人数)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
理学療法	236	253	204	213	229	243	214	217	186	197	205	224	2,621	2,639
作業療法	119	154	166	147	169	164	171	164	176	171	176	187	1,964	1,811
言語聴覚療法	124	133	138	142	132	154	151	145	143	148	161	172	1,743	1,736
心理療法	200	271	262	223	161	202	202	185	155	191	215	212	2,479	2,467
視能訓練	39	40	52	51	48	44	37	34	41	46	33	57	522	550
合計	718	851	822	776	739	807	775	745	701	753	790	852	9,329	9,203

ウ. 診療・訓練地域別内訳(累計人数)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計	
宮崎市	1,421	1,626	1,657	1,599	1,541	1,618	1,603	1,492	1,468	1,488	1,605	1,791	18,909	18,387	
国富町	73	84	63	69	52	56	57	73	67	58	47	77	776	834	
綾町	22	20	26	19	38	29	37	27	25	28	27	22	320	326	
その他	県内	83	94	108	99	99	101	100	115	104	86	102	127	1,218	1,247
	県外	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	1,599	1,824	1,854	1,786	1,731	1,804	1,797	1,707	1,664	1,660	1,781	2,017	21,224	20,795	

エ. 通所部利用児・者支援数(累計人数)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計	
言語聴覚療法	児童発達	0	0	95	76	77	70	52	79	83	62	44	0	638	522
	生活介護	5	4	5	6	2	6	5	6	4	2	2	3	50	18
作業療法	児童発達	0	7	122	107	101	87	100	106	95	78	52	9	864	552
	生活介護	34	31	15	29	32	31	18	34	41	29	48	55	397	204
理学療法	児童発達	0	0	69	60	65	148	68	84	72	54	31	0	651	510
	生活介護	22	19	17	9	15	9	9	12	4	6	3	20	145	138
合計	61	61	323	287	292	351	252	321	299	231	180	87	2,745	1,944	

《通所部》

①在籍児者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
児童発達支援センターすびか	開所日数	20	19	22	20	18	20	20	20	19	19	15	232	224
	利用実人数	40	40	40	40	40	40	40	40	38	38	39	475	480
	利用延べ人数	667	692	768	638	618	665	698	679	639	611	627	521	7,823
指定生活介護事業所宙(そら)	開所日数	20	20	22	20	18	20	21	20	20	19	19	238	239
	利用実人数	46	46	46	46	46	46	45	45	45	45	44	541	540
	利用延べ人数	352	359	384	345	338	345	367	339	354	323	257	322	4,085
合計(利用延べ人数)	1,019	1,051	1,152	983	956	1,010	1,065	1,018	993	934	884	843	11,908	11,620

②在籍児者地域別内訳

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
宮崎市	945	981	1,071	935	891	945	991	941	917	874	824	779	11,094	10,873
西都市	7	7	8	6	5	7	6	6	7	6	6	6	77	78
国富町	46	41	49	20	36	36	43	48	45	33	36	37	470	374
新富町	21	22	24	22	24	22	25	23	24	21	18	21	267	295
その他	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(利用延べ人数)	1,019	1,051	1,152	983	956	1,010	1,065	1,018	993	934	884	843	11,908	11,620

《地域生活支援部》

①宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
障がい者相談支援事業		209	254	334	252	261	233	198	211	300	193	172	234	2,851	2,418
療育等 支援事業	訪問療育	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	6	11
	外來療育	0	2	2	2	3	3	2	3	2	1	2	2	24	138
	施設支援	0	0	2	5	3	5	3	1	4	2	4	4	33	10
巡回支援専門員整備事業		13	15	12	13	16	15	16	14	16	10	19	10	169	254
合 計		222	272	351	272	283	257	220	229	322	207	197	251	3,083	2,831

②サービス等利用計画書及び障がい児支援利用計画書 作成実績

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
計 画 相談支援	新規 更新・変更	7	5	6	7	2	3	7	3	3	1	5	8	57	81
	モニタリング	1	7	4	1	0	3	2	2	0	1	5	2	28	37
障がい児 相談支援	新規 更新・変更	24	8	20	17	14	25	9	9	15	12	16	21	190	205
	モニタリング	10	11	7	11	5	3	10	7	5	6	4	8	87	101
合 計		42	31	37	36	21	34	28	21	23	20	30	39	362	424

③保育所等訪問支援事業(延べ人数)

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
保育所等 訪問支援 事業	乳 幼 児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	23	16
	その他児童	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	23	16

④そらだんサポートセンターすびか 障がい児支援利用計画書 作成実績

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
障がい児 相談支援	新規 更新・変更	0	0	6	2	0	6	4	7	7	7	6	17	62	50
	モニタリング	6	4	1	4	5	5	4	4	4	5	7	5	54	39
合 計		6	4	7	6	5	11	8	11	11	12	13	22	116	89

